

広島大学歯学部歯学科一般入試（後期日程）

平成31年度入学試験問題

小論文

本問題の出題の意図

問1 本問題中の文章では、「必要」には英語でおもに「ニーズ」と「ウォント」という二通りの表現の仕方があること、および「ニーズ」と「ウォント」という二つの言葉の意味の違いについて記述されています。「ニーズ」という言葉は外部の状況を判断して得た必要性であり、過去から現在にかけて人が経験したことを基準にして割り出した必要性という意味に使われ、「ウォント」は自分の内部から出てくる必要性であり、現在と未来に時間軸をとった上での必要性を意味していると文章中に記述されています。本問題では、文章を読んだ後、受験生自身が進路を決める上で考慮する「ニーズ」と「ウォント」について記述してもらいます。

解答では、自身の進路を決める上で考慮する「ニーズ」と「ウォント」について、各要素が含む内容を記述し、「ニーズ」と「ウォント」の関係性について考察を展開されても良いです。

また、自他の双方から生じうる「ニーズ」と自分の内部から生じる「ウォント」を対比させながら、もしくは過去から現在の自他を分析して得た「ニーズ」と現在から未来に向けて湧き出る「ウォント」を対比させながら、将来の自身の目指す方向を分析的に記述されるのも可能です。

一方で、「ニーズ」と「ウォント」の2要素の中で、大切であると考える要素に焦点をあて、その要素に含有される内容、その要素の大切さの理由、およびその要素が果たす役割について多角的に記述を展開されても良いです。

「必要」「ニーズ」「ウォント」の意味について、本文中とは異なる解釈を持っている場合には、その理由を論理的に述べながら、もしくは文章中に記述されている内容に他の意味を追加しながら、自身の進路を決める上で考慮する「ニーズ」と「ウォント」について記述されることも可能です。

解答は受験生によって様々な方向に展開されることが予測されますが、解答の中で、受験生の論理的・建設的な思考力、独創的視点、協調性、将来医療人となるための豊かな人間性が読み取れる内容を期待します。

広島大学歯学部歯学科一般入試（後期日程）

平成 31 年度入学試験問題

小論文

本問題の出題の意図

問2 本問題は、言葉が持っているパワーについて、受験生に改めて考えさせ、自分への影響、他人への影響を論理的思考の基に記述させます。受験生は、将来医療人を目指すという道を選択しようとしています。医療人として言葉がどれほど大切で、自分が発する言葉に責任を持ち、また、社会人への架け橋となる時期に改めて言葉について考えてもらうことで、社会に対する心構えも思考してもらいます。

医療では、言葉がコミュニケーションツールとして機能しています。発言するだけでなく、相手に伝わる言葉がどのようなものか、また相手に与える影響が如何に大きいのかを熟考し、医療人としての言葉のパワーについて論理的に分析し記述されることも可能です。

また、これまでの学校生活において、様々な場面で自分が発した言葉や、他人から言われた言葉で影響を受けた経験もあるでしょう。そのような言葉のパワーについて、経験談を基に、情報収集、分析し論理的に記述されることも可能です。近年、外国人との交流の機会も多くなっています。そのような多様な文化から影響を受けた言葉の大切さについても記述が可能です。

受験生の解答には、様々な記述が予想されますが、受験生の論理的な思考力と展開力、コミュニケーションに関する認識、医療人を目指す者としての責任感、個々の多様な人間性が読み取れる内容を期待しています。